I-O DATA

# Disk Refresher 4

ディスクリフレッシャー4

# 取扱説明書

# もくじ


**はじめに.....3**
DiskRefresher4とは？.....3
添付品を確認する.....3
DiskRefresher4の種類と違い...4
動作環境.....6
使い方.....6

**インストールして使う(Windows版)7**
インストールする.....8
ドライブのデータを消去する.....9
特定のファイルを消去する..... 15
消去証明書を確認する..... 18
消去の履歴を確認する(消去履歴管理)..... 19
データの状況を確認する(セクタダンプ)..... 20
消去設定を先に設定する(毎回消去設定しない)..... 21

**USBメモリーから起動する(USBブート版).....25**
ドライブのデータを消去する.. 26
消去の履歴を確認する(消去履歴管理)..... 30
データの状況を確認する(セクタダンプ)..... 33

**付録.....35**
対応データ消去方式..... 35

**困ったときには.....36**

**お守りください.....38**
バックアップしてください..... 38
安全のために..... 39
使用上のご注意..... 40

**アフターサービス .....42**
お問い合わせについて ..... 42
修理について..... 43
ハードウェア保証規定 ..... 44

# はじめに

## DiskRefresher4とは？

本製品は、HDD/SSDやリムーバブルメディア内のデータを消去し、復元できないようにします。
通常のフォーマットやファイル削除では、データを完全に消去することはできません。その為、パソコンやメディアの譲渡・廃棄・転用を行った場合に、第三者に情報が漏洩する可能性があり、問題となっています。
しかし、本ソフトウェアで消去すれば安心です。

※ 本ソフトウェアでデータ消去を実行した際、キャッシュ領域にデータが残る場合がありますが、これらのデータは意味あるデータとしてアクセスすることはできません。 またデータ復元ソフトを使ってもこのキャッシュデータを元にデータを復元することはできません。

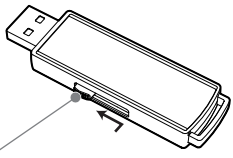
**DiskRefresher4の種類**

本ソフトウェアには、Windows版とUSBブート版があります。
詳しくは【DiskRefresher4の種類と違い】（4ページ）をご覧ください。

## 添付品を確認する

□ DiskRefresher4（1本）
[USBメモリー]

■ 取扱説明書(本書)



スライドスイッチ
※押しながら
スライドする

※ 添付のUSBメモリーは本製品専用です。
通常のUSBメモリーとして使うことはできません。

## DiskRefresher4の種類と違い

本ソフトウェアには、Windows版とUSBブート版があります。

●Windows版：
添付のUSBメモリーからインストールし、起動します。
データ消去用のパソコンを用意するときに向いています。
●USBブート版：
添付のUSBメモリーを挿し、直接起動します。
廃棄パソコンのデータを消去するときなどに向いています。

### ▼ 対応するインターフェイス

| | Windows版※ | USBブート版 |
|---|---|---|
| USB | ○ | − |
| SATA (eSATA) | ○ | ○ |
| ATA | ○ | ○ |
| IEEE 1394 | ○ | − |
| NVMe | ○ | ○ |
| Thunderbolt | ○ | − |

※ Windowsが動作しているドライブは消去できません。

### ▼ 対応するデバイス

| | Windows版 | USBブート版 |
|---|---|---|
| HDD/SSD | ○ | ○ |
| USBメモリー | ○ | − |
| SDカード | ○ | − |
| コンパクトフラッシュ | ○ | − |
| メモリースティック | ○ | − |

## ▼ 対応する機能

| | Windows版 | USBブート版 |
|---|---|---|
| ドライブ消去 | ○ | ○ |
| ファイル消去 | ○ | − |
| セクタダンプ | ○ | ○ |
| 消去証明書発行 | ○ | − |
| 消去履歴管理 | ○ | ○ |
| ベリファイ | ○ | ○ |

●ドライブ消去

Windows版は、複数ドライブを同時に消去することができます。

●ファイル消去(Windows版のみ)

ファイル単位でデータを消去できます。

●セクタダンプ

簡易的にデータの消去を確認できます。

●消去証明書発行(Windows版のみ)

本ソフトウェアにてデータが消去されたことを証明する、消去証明書を発行します。

●消去履歴管理

消去履歴を一括して確認できます。

大量消去時にも消去漏れがなく、効率良く作業ができます。

●ベリファイ

データ消去後に検証します。確実な消去を自動で確認できて安心です。

## 動作環境

本ソフトウェアは以下の環境でご使用いただけます。

●対応機種

| | |
|---|---|
| Windows版 | Windows PC※ |
| USBブート版 | 64bitUEFI/BIOSが動作可能でUSBブートに対応したPC※ |

※ ARMプロセッサ搭載のPCは非対応。

●対応OS

| | |
|---|---|
| Windows版 | ・Windows8.1<br>・Windows10 バージョン1903以降※ |
| USBブート版 | OS依存なし |

※ Windows 10 (Sモード) には対応していません。

## 使い方

本ソフトウェアの使い方は、種類ごとに記載しています。

▶インストールして使う(Windows版) ..... 7

▶USBメモリーから起動する(USBブート版) ..... 25

# インストールして使う(Windows版)

Windows版のDiskRefresher4をインストールし、データを消去します。


インストールする……8
Windows版のDiskRefresher4をインストールします。

ドライブのデータを消去する……9
ドライブ内のデータを消去します。
消去時、消去証明書を発行することができます。

特定のファイルを消去する……15
指定したファイルだけを消去します。

消去証明書を確認する……18

消去の履歴を確認する(消去履歴管理)……19

データの状況を確認する(セクタダンプ)……20

消去設定を先に設定する(毎回消去設定しない)……21

# インストールする

**Windowsにログオンする際**

コンピュータの管理者(Administrator) 権限でログオンしてください。

**1** 添付のUSBメモリーをパソコンに挿す

**2** USBメモリー内の「Setup.exe」を開く

⇒ 後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

**ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合**

[続行] をクリックしてください。

# ドライブのデータを消去する

### Windowsにログオンする際

コンピュータの管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

### ご注意

- 他のソフトは全て終了してください
  本ソフトウェア以外で、ドライブ/メディアを読み書きするようなソフトが起動していると、本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。
- 消去の際はご注意ください
  情報は消去され復元できません。

## 1 消去するドライブをパソコンにつなぐ

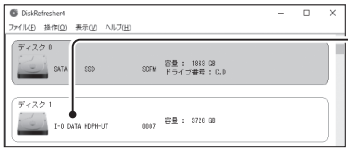
意図しないデータの消去を防ぐため、消去しないHDDやSDカードなどはすべてパソコンから取り外してください。

## 2 DiskRefresher4を起動する

### ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

［続行］をクリックしてください。

## 3

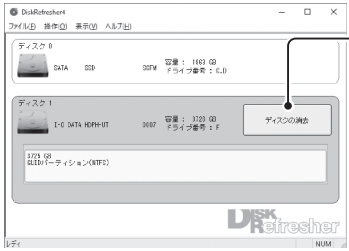



データ消去したいドライブをダブルクリックする

### ドライブが見つからない場合

【消去したいドライブ/メディアが見つからない】（36ページ）をご覧ください。

**4**

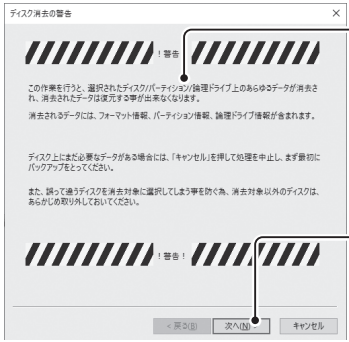



［ディスクの消去］を
クリックする

**メディアがライトプロテクトされている場合**

消去できません。ライトプロテクトを解除してください。

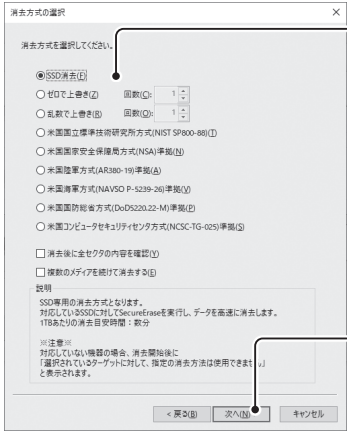
**5**




① 警告内容を確認する

② ［次へ］をクリックする

**6**




① 消去方式を選ぶ（35ページ）

② ［次へ］をクリックする

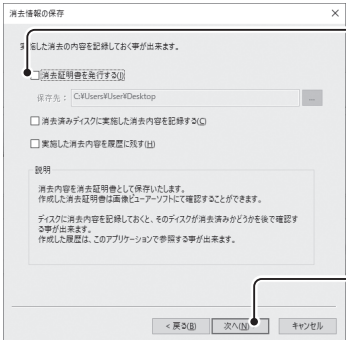
### 消去後に全セクタの内容を確認

消去後に、正常に消去されているかを自動で確認します（ベリファイ）。

### 複数のメディアを続けて消去する

複数のメディアを連続して消去できます。
※ リムーバブルメディアの場合のみ表示されます。

**7**




① 必要に応じて設定する

② [次へ] をクリックする

### 消去証明書を発行する

消去完了時、消去内容を示す証明書を保存先に発行します。

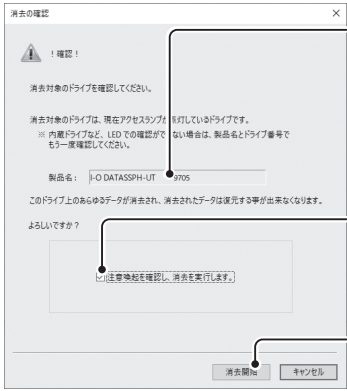
### 消去済みディスクに実施した消去内容を記録する

消去したディスクに消去内容を記録します。
【データの状況を確認する（セクタダンプ)】(20ページ）で確認できます。

### 実施した消去内容を履歴に残す

消去内容が[消去の履歴] に記録されます。
【消去の履歴を確認する（消去履歴管理)】(19ページ）で確認できます。

**8**




① 消去対象を確認する
※ 消去対象のドライブはアクセスランプが点灯します。

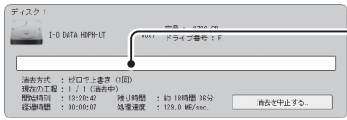
② 上の注意を確認した後、[注意喚起を確認し、消去を実行します。] をチェックする

③ [消去開始] をクリックする

### 消去中のドライブ / メディアにアクセスしないでください

Windowsが正常に動作しなかったり、正常に消去できないおそれがあります。

**9**

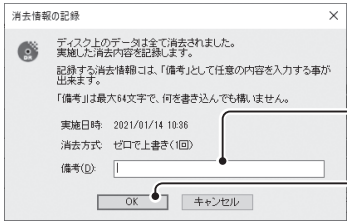



消去の状況が表示される

### [複数のメディアを続けて消去する] をチェックしている場合

画面の指示に従って作業を進めてください。

**10**




**備考について**

入力すると、後で消去履歴の確認がしやすくなります。

- 消去済みディスクに実施した消去内容を記録する(12ページ) を有効にした場合、セクタ情報の0セクタ目から備考の情報が入力されます。
- 実施した消去内容を履歴に残す(12ページ) を有効にした場合、消去履歴のInfoに備考の情報が保存されます。

消去の手順は終了です。

# 特定のファイルを消去する

### Windowsにログオンする際

コンピュータの管理者(Administrator) 権限でログオンしてください。

### ご注意

- 他のソフトは全て終了してください
  本ソフトウェア以外で、ドライブ/メディアを読み書きするようなソフトが起動していると、本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。
- 消去の際はご注意ください
  情報は消去され復元できません。

## 1 消去するドライブをパソコンにつなぐ

意図しないデータの消去を防ぐため、消去しないHDDやSDカードなどはすべてパソコンから取り外してください。

## 2 DiskRefresher4を起動する

### ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行] をクリックしてください。

## 3 [操作] →[ファイルの消去] をクリックする

**4**

［削除フォルダ追加］［削除ファイル追加］をクリックし、削除するフォルダー / ファイルを追加する

### 消去証明書を発行する

消去完了時、消去内容を示す証明書を保存先に発行します。

**5**

① 上の注意を確認した後、［注意喚起を確認し、消去を実行します。］をチェックする

② ［ファイル消去］をクリックする

### 消去中のドライブ / メディアにアクセスしないでください

Windowsが正常に動作しなかったり、正常に消去できないおそれがあります。

**6**

消去が完了したらメッセージが表示されるので[OK]をクリックする

ファイル消去の手順は終了です。

# 消去証明書を確認する

## ▼ 消去証明書の発行方法

消去の際に消去証明書を発行するように設定します。(16、23ページ)
消去証明書の保存場所についてもそこで設定します。

## ▼ 消去証明書の確認方法

設定した消去証明書の保存場所にある jpg ファイルが
消去証明書です。

### 消去証明書のファイル名

消去方法によってファイル名が異なります。

- ディスクの消去：
  ドライブ消去証明_(消去証明書発行日時)_(消去デバイス型番)_(消去デバイス個体識別番号).jpg
  例：ドライブ消去証明_20210205212907_I-O DATASSPH-UT 9705_404227DC1013.jpg
- ファイルの消去：
  ファイル消去証明_(消去証明書発行日時)_(連番).jpg
  例：ファイル消去証明_20210205212907_01.jpg

### ディスクの個体識別番号を確認する方法

本ソフトウェアでは、以下の方法で確認できます。
① DiskRefresher4 を起動する
② 確認したいディスクを右クリックする
③ [プロパティ] をクリックする
④ 表示された画面で個体識別番号を確認する

### 個体識別番号などのデバイスに関する情報について

一部デバイスでは個体識別番号などの情報を正しく取得できない場合があります。

# 消去の履歴を確認する(消去履歴管理)

**Windowsにログオンする際**

コンピュータの管理者(Administrator) 権限でログオンしてください。

**1** DiskRefresher4を起動する

**ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合**

[続行] をクリックしてください。

**2** [ファイル] →[消去履歴の表示] をクリックする

**3**

**消去履歴の見方**

Date：消去日時
Method：消去方法
Disk：ドライブ名
Info：14ページの手順で入力した備考

# データの状況を確認する(セクタダンプ)

### Windowsにログオンする際

コンピュータの管理者(Administrator) 権限でログオンしてください。

### ご注意

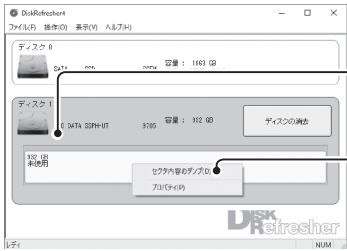
他のソフトは全て終了してください。本ソフトウェア以外で、ドライブ/メディアを読み書きするようなソフトが起動していると、本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。

## 1 DiskRefresher4を起動する

### ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行] をクリックしてください。

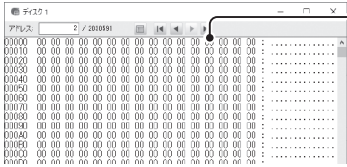
## 2




① 確認したいディスクを右クリックする

② [セクタ内容のダンプ] をクリックする

## 3




ダンプ内容を確認する

# 消去設定を先に設定する(毎回消去設定しない)

**Windowsにログオンする際**

コンピュータの管理者(Administrator) 権限でログオンしてください。

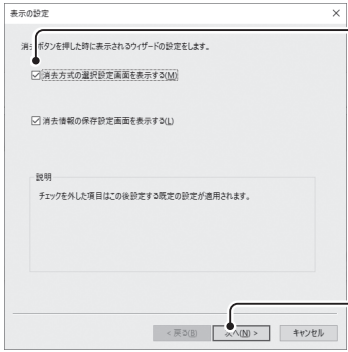
**1** DiskRefresher4を起動する

**ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合**

[続行] をクリックしてください。

**2** [表示] →[設定] をクリックする

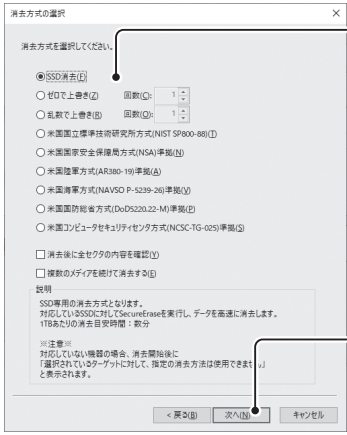
**3**




① 先に設定しておく内容のチェックを外す
※ チェックを外した画面は消去時に表示されなくなります。

② [次へ] をクリックする

**4**




① 消去方式を選ぶ(35ページ)

② [次へ] をクリックする

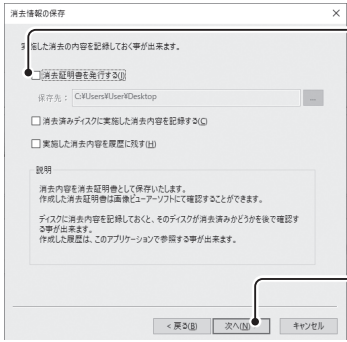
### 消去後に全セクタの内容を確認

消去後に、正常に消去されているかを自動で確認します(ベリファイ)。

### 複数のメディアを続けて消去する

複数のメディアを連続して消去できます。
※ リムーバブルメディアの場合のみ表示されます。

**5**




### 消去証明書を発行する

消去完了時、消去内容を示す証明書を保存先に発行します。

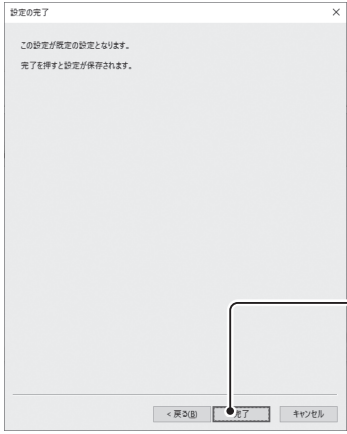
### 消去済みディスクに実施した消去内容を記録する

消去したディスクに消去内容を記録します。
【データの状況を確認する（セクタダンプ）】（20ページ）で確認できます。

### 実施した消去内容を履歴に残す

消去内容が［消去の履歴］に記録されます。
【消去の履歴を確認する（消去履歴管理）】（19ページ）で確認できます。

**6**




選んだ設定が既定値となり、消去中にその設定画面は表示されなくなりました。

# USBメモリーから起動する(USBブート版)

添付のUSBメモリーからDiskRefresher4を起動し、データを消去します。

ドライブのデータを消去する……26
ドライブ内のデータを消去します。

消去の履歴を確認する(消去履歴管理)……30

データの状況を確認する(セクタダンプ)……33

# ドライブのデータを消去する

**ご注意**

● 消去の際はご注意ください
情報は消去され復元できません。

**1** パソコンの電源を切る

**2** 添付のUSBメモリーをパソコンに挿す

**3** パソコンの電源を入れる

**USBブートの設定について**

● PCによっては一部USBポートがUSBブートに対応していないことがあります。DiskRefresher4が起動しない場合は別のUSBポートに添付のUSBメモリーを挿してください。
● BIOSでUSBからブートできるように設定が必要な場合があります。設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

**4**

利用規約を読み、問題ないことを確認したら[Y]キーを押す

**5**

[ディスクを操作する] を選ぶ

### システム情報を見る

パソコンの情報を表示します。

### ファイルに記録された消去履歴を見る

【消去の履歴を確認する(消去履歴管理)】(30ページ) をご覧ください。

**6**

データ消去するディスクを選ぶ

**7**

[消去する] を選ぶ

### ダンプする

【データの状況を確認する（セクタダンプ)】(33ページ）をご覧ください。

### 消去記録を見る

【消去の履歴を確認する(消去履歴管理)】(30ページ) をご覧ください。

**8**

消去方式を選ぶ
(35ページ)

### ゼロで上書き/乱数で上書きを選んだ場合

続けて、消去回数を入力する画面を表示します。

**9**

データ消去後の照合(ベリファイ) 方法を選ぶ

**10**

消去履歴保存の方法を選ぶ

### 消去対象のディスクに記録する

消去対象のディスクに消去履歴を保存します。
消去履歴の確認方法については、【消去したディスクに保存した場合】(31ページ) をご覧ください。

### ファイルに記録する

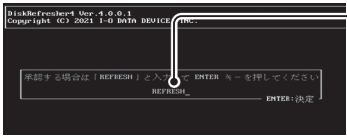
別途接続したUSBメモリーなどに消去履歴を保存します。
消去履歴の確認方法については、【別で接続したUSBメモリーなどに保存した場合】(30ページ) をご覧ください。

※ 記録できない場合、本ソフトウェアのUSBメモリーを保存先に選んでいる事が考えられます。

**11**

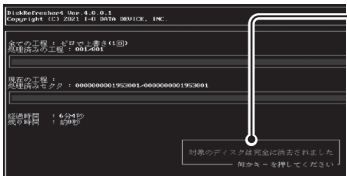
消去内容を確認し、[ENTER] キーを押す

**12**




「REFRESH」（半角大文字）と入力し、[ENTER] キーを押す
⇒ 消去を開始します。

**13**




「対象のディスクは完全に消去されました」と表示したら消去は終了です。
何かキーを押します。
⇒ 最初のメニュー画面に戻ります。

**本ソフトウェアの終了方法**

最初のメニュー画面で[Esc] キーを押します。
「終了しますか？」と表示したら、[Y] キーを押せば本ソフトウェアは終了します。
添付のUSBメモリーをパソコンから抜き、パソコンの電源を切ってください。

消去の手順は終了です。

# 消去の履歴を確認する(消去履歴管理)

消去履歴の保存場所によって、確認方法が異なります。

▶別で接続したUSBメモリーなどに保存した場合..... 30
▶消去したディスクに保存した場合..... 31

## ▼ 別で接続したUSBメモリーなどに保存した場合

### USBメモリー内のファイルを直接開く方法

USBメモリー内の「dref.log」ファイルを開いて消去履歴を確認することもできます。

**1** パソコンの電源を切る

**2** 添付のUSBメモリーをパソコンに挿す

**3** パソコンの電源を入れる

### USBブートの設定について

BIOSでUSBからブートできるように設定が必要な場合があります。
設定については、パソコンの取説をご覧ください。

**4**

[ファイルに記録された消去履歴を見る] を選ぶ

**5**

消去履歴を記録したUSBメモリーなどを選ぶ

**6**

消去履歴を確認する

## ▼消去したディスクに保存した場合

**1** パソコンの電源を切る

**2** 添付のUSBメモリーをパソコンに挿す

**3** パソコンの電源を入れる

### USBブートの設定について

BIOSでUSBからブートできるように設定が必要な場合があります。
設定については、パソコンの取説をご覧ください。

**4**

[ディスクを操作する] を選ぶ

**5**

確認したいディスクを選ぶ

**6**

[消去記録を見る] を選ぶ

**7**

消去履歴を確認する

# データの状況を確認する(セクタダンプ)

**1** パソコンの電源を切る

**2** 添付のUSBメモリーをパソコンに挿す

**3** パソコンの電源を入れる

### USBブートの設定について

BIOSでUSBからブートできるように設定が必要な場合があります。
設定については、パソコンの取説をご覧ください。

**4**

[ディスクを操作する] を選ぶ

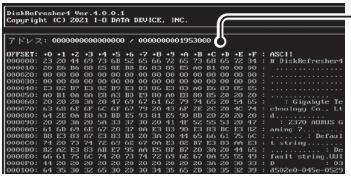
**5**

確認したいディスクを選ぶ

**6**

[ダンプする] を選ぶ

**7**




ダンプ内容を確認する

# 付録

## 対応データ消去方式

| 消去方式 | 消去回数 | 処理内容 |
|---|---|---|
| SSD消去※ | 1 | SecureErase(EnhancedMode)コマンドによる消去 |
| ゼロで上書き (Overwrite with ZERO) | 1 ～ 100 (任意) | ゼロクリア |
| 乱数で上書き (Overwrite with RANDOM DATA) | 1 ～ 100 (任意) | 乱数書き込み |
| アメリカ国立標準技術研究所方式(NIST SP800-88) | 1 | 固定値書き込み→検証 |
| 米国国家安全保障局方式(NSA) | 3 | 乱数書き込み→乱数書き込み→ゼロクリア |
| 米国陸軍方式(AR380-19) | 3 | 乱数書き込み→固定値書き込み→固定値書き込み |
| 米国海軍方式 (NAVSO P-5239-26) | 3 | 固定値書き込み→固定値書き込み→乱数書き込み→検証 |
| 米国国防総省方式 (DoD5220.22-M) | | |
| 米国コンピュータセキュリティセンタ方式 (NCSC-TG-025) | | |

※USBブート版は非対応です。この方式で消去すると、余剰領域を含めた全領域を確実に「データなし」の状態にできます。また他の方式では数時間掛かるような場合でも、この方式では数分で消去できます。
また、この方式は当社製USB接続SSDのみ対応です。

# 困ったときには

**よくあるお問い合わせ**

よくあるお問合わせを「商品Q&A」としてまとめました。
こちらもご確認ください。
**https://www.iodata.jp/p/237904**

## 消去したいドライブ/メディアが見つからない

- インターフェイスが未対応
  対象ドライブのインターフェイスが、本ソフトウェアに対応しているか確認してください。⇒【動作環境】（6ページ）

## 消去やフォーマットが中断する/動作が不安定/エラーメッセージを表示

- パケットライトソフトやセキュリティソフト等、ディスクアクセスを制御するようなアプリケーションを使用している
  パケットライトソフトやセキュリティソフト等、ディスクアクセスを制御するようなアプリケーションを使用している場合は、それらのソフトウェアを無効にしてからご使用ください。
- ハードディスク/ メディアに異常がある
  正常に動作していないハードディスク/ メディアは使用できません。

## 消去に失敗する

- ウイルスチェック機能がON（ENABLE）になっている
  パソコン本体のBIOSにウィルスチェック機能がある場合、この機能が有効になっていると、本ソフトウェアが正常に動作できません。

本ソフトウェアを使う際にはこの機能をOFF（DISABLE）にし、使った後にON（ENABLE）に戻してください。ウィルスチェック機能に関する詳細については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

**BIOSのウイルスチェック機能の表示例**

以下は、BIOS 内での表示例です。ご使用のパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書にてご確認ください。

表示例）「Boot Virus Detection」「Virus Warning」

※上記の表示がある場合は、OFF（DISABLE）にしてください。

- ドライブ/メディアに不良セクタがある
  不良セクタがある場合、消去中にエラーが発生して終了する場合があります。物理フォーマットできる場合は、物理フォーマットをすることで正常に消去できるようになる場合があります。

## USBメモリーからの起動に失敗する

- USBメモリーを挿したUSBポートがUSBブートに対応していない
  PCによっては一部USBポートがUSBブートに対応していないことがあります。別のUSBポートに添付のUSBメモリーを挿してください。
- BIOSでUSBからブートできるように設定が必要な場合があります。
  設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- PCのセキュアブート機能が有効になっている
  USBブート版はセキュアブート機能に対応しておりません。PCのBIOS画面でセキュアブートを無効に設定してください。
  設定については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- お使いのパソコンがUSBでの起動に対応していない
  詳しくはパソコンメーカーにお問い合わせください。
- USBメモリーが壊れている
  上記のどれにも該当しない場合、USBメモリーが壊れていることが考えられます。修理センターにご連絡ください。

# お守りください

## バックアップしてください

本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、保存された重要なデータについては、必ず「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。

●バックアップとは
データを守るために、別の記憶媒体 (HDD、BD/DVD など) にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。)
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

## 安全のために

**⚠ 警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。

●**本製品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

●**本製品の修理・分解・改造や水・異物の混入、故障中の通電、コネクターの誤挿入はしないでください。**
火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。

●**本製品を使用していると、本体が熱く感じる場合がありますが、故障ではありません。**
使用中、使用直後に本体に触れる際は、取り扱いに注意してください。

## 使用上のご注意

**●添付のUSBメモリーを挿し込む際は、まっすぐ挿し込んでください。接続中は、USBメモリー本体をねじるなど大きな力を加えないでください。**
コネクター部分が曲がり、故障の原因になります。

**●消去したデータは元に戻せません**
本ソフトウェアは、指定されたハードディスクおよびリムーバブルメディア上のデータを全て消去します。
消去されたデータは、どのような復元方法を用いても復元できません。
消去作業を実行する前に、必要なデータが残っていないか必ずご確認ください。
必要なデータ、必要となる可能性のあるデータについては、他のハードディスクやリムーバブルメディアなどへバックアップの上、消去作業を実行してください。
また、複数台のストレージ機器を接続している場合は、作業を実行しないストレージ機器をパソコンから取り外して作業を行ってください。

**●本ソフトウェアを使用中は省電力モードにしないでください**
本ソフトウェアを使用中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

**●Windows上でストレージ機器の取り付け／取り外しを行わないでください**
本ソフトウェアをWindows上で使用中、ストレージ機器(USB、IEEE1394接続のものも含めすべて) の取り付け／取り外しを行うと本ソフトウェアの情報が正常ではなくなる場合があります。下記を守ってお使いください。
- 本ソフトウェアを起動前に、ストレージ機器の取り付け／取り外しを行った場合は、Windowsを再起動すること
- 本ソフトウェアを起動中に、ストレージ機器の取り付け／取り外しを行わないこと

**●パソコン本体のBIOSにウイルスチェック機能がある場合は、この機能をOFF（DISABLE）にしてください**

パソコン本体のBIOSにウィルスチェック機能がある場合でこの機能が有効になっていると、本ソフトウェアが正常に動作できません。本ソフトウェアをご使用になる場合はこの機能をOFF（DISABLE）にし、ご使用後にON（ENABLE）に戻してください。

（ウィルスチェック機能に関する詳細については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。）

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

# アフターサービス

**重要**

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## お問い合わせについて

### お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

①「商品Q&A」を参照
②最新のソフトウェアをダウンロード

**https://www.iodata.jp/lib/**

### それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

**050-3116-3021**

受付 9:00～17:00 月～金曜日
（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）
※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

**https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/other?**

# 修理について

保証期間 1 年間

## 以下を梱包し修理センターへお送りください

●本製品
●レシート、納品書など購入日を示すもの
●修理依頼書（下記URLで印刷）
※名前・住所・TEL・FAX・E-Mail・症状を書いたメモでも可

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

**https://www.iodata.jp/support/after/repair/**

※事前連絡は不要です。
※修理の流れ、費用や納期の目安などもこちらでご確認いただけます。
なお、有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。（見積無料）
※修理依頼書はここから印刷できます。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

# ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

**1 保証内容**
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より　1年間　無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

**2 保証対象**
保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

**3 保証対象外**
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

**4 修理**
1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

**5 免責**
1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

**6 保証有効範囲**
弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

Memo

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【使用ソフトウェアについて】
・本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWeb ページをご確認ください。
https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
・本製品にて使用しているソフトウェアライセンス情報は以下Webページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/p/237904

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

https://www.iodata.jp/

I-O DATA

MANU000653